

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公開番号】特開2002-126404(P2002-126404A)

【公開日】平成14年5月8日(2002.5.8)

【出願番号】特願2000-324771(P2000-324771)

【国際特許分類】

**B 01 D 19/04 (2006.01)**

【F I】

B 01 D 19/04

B

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月22日(2006.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ショ糖と炭素数3～4のアルキレンオキシドとの化合物[A]と、炭素数9～15の分岐型第一級モノアルコールと炭素数2～3のアルキレンオキシドとの化合物および/または炭素数9～15の直鎖型第二級モノアルコールと炭素数2～3のアルキレンオキシドとの化合物[B]からなるカチオン電着塗料用消泡剤組成物。

【請求項2】ショ糖と炭素数3～4のアルキレンオキシドとの化合物[A]と、炭素数9～15の分岐型第一級モノアルコールと炭素数2～3のアルキレンオキシドとの化合物および/または炭素数9～15の直鎖型第二級モノアルコールと炭素数2～3のアルキレンオキシドとの化合物[B]および炭素数が2～4で1～3個の水酸基を持つアルコール類と炭素数2～3のアルキレンオキシドとの化合物[C]からなるカチオン電着塗料用消泡剤組成物。

【請求項3】[A]がショ糖に炭素数3～4のアルキレンオキシドを30～45モル重合し、ブチルジグリコール25質量%水溶液法での暈点が40～55である請求項1または2記載の消泡剤組成物。

【請求項4】[B]が炭素数9～15の分岐型第一級モノアルコールに炭素数2～3のアルキレンオキシド2～6モルを重合させた化合物および/または炭素数9～15の直鎖型第二級モノアルコールに炭素数2～3のアルキレンオキシド2～6モルを重合させた化合物で、0.1%水溶液、25での表面張力が40mN/m以下である請求項1～3のいずれか記載の消泡剤組成物。

【請求項5】[C]が炭素数2～4で1～3個の水酸基を持つアルコール類に炭素数2～3のアルキレンオキシドを25～55モル重合し、ブチルジグリコール25質量%水溶液法での暈点が10～25である請求項2～4のいずれか記載の消泡剤組成物。

【請求項6】[A]/[B]/[C]の質量に基づく配合比が55～99.5/0.5～10/0～35である請求項1～5のいずれか記載の消泡剤組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明者は銳意検討を重ねた結果、本発明に達した。すなわち、ショ糖と炭素数3～4のアルキレンオキシドとの化合物[A]と、炭素数9～15の分岐型第一級モノアルコールと炭素数2～3のアルキレンオキシドとの化合物および/または炭素数9～15の直鎖型第二級モノアルコールと炭素数2～3のアルキレンオキシドとの化合物[B]からなるカチオン電着塗料用消泡剤組成物ならびに上記化合物[A]、化合物[B]および炭素数が2～4で1～3個の水酸基を持つアルコール類と炭素数2～3のアルキレンオキシドとの化合物[C]からなるカチオン電着塗料用消泡剤組成物、である。